

平成22年度の財務諸表は、「総務省方式改訂モデル」で作成しています。

今回お知らせしているのは、平成22年度決算における市の普通会計(一般会計、学校給食費特別会計)の指標です。詳細については、市ホームページでもご覧いただけます。



●チェック。『市の家計簿』

高山市の財政のすがた

市の財政状況をできるだけ分りやすく市民のみなさんに知っていただくため、平成22年度の『市の家計簿』である貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書を作成しました。財務書類は、単に作成・公表するだけでなく、今後の行政運営に活用していきます。

貸借対照表 (バランスシート)

貸方 (負債の部)	
負債	借入金(市債)
	482億9千万円
	退職手当引当金など 87億4千万円
	未払金など 37億9千万円
負債計	608億2千万円
純資産	
	国、県の補助金
	438億6千万円
	資産形成に使った
	一般財源など
	1,895億6千万円
純資産計	2,334億2千万円
計	2,942億4千万円

●借入金

学校、道路などを建設するため、市が銀行や国などに借りたお金(借金)の残高です。

●退職手当引当金

市の全職員が年度末に退職すると想定した場合の退職金の総額です。実際は全員と一緒に退職することは考えられませんが、将来発生するものとして負債に計上しています。

●純資産

学校、道路などを建設するために使った国や県からの補助金や、税金などの総額です。

市民1人あたりでは…

- 資産 273.0万円
- 負債 65.2万円

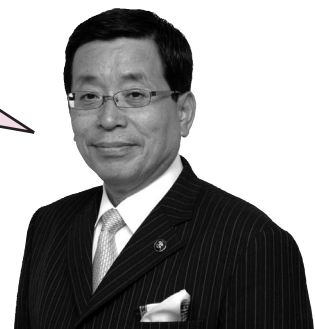
市の財務状況を分かりやすくするため、資産額、負債額などを市民1人あたりの金額に置き換えてみました。

貸借対照表

貸方	
負債	65.2万円
純資産	250.1万円
負債・純資産計	315.3万円

(市長からのひと言)

昨年度と比べ借金を減らし、資産に対する負債の割合は約2割となっており、将来世代への負担が少ない健全な財政運営であるといえます。



※数値は四捨五入で作成